

希望が丘文化公園基本計画に基づく取組の実施状況について

1 経過

平成27年12月 希望が丘文化公園将来ビジョン策定

平成29年度

- 5月 基本計画の策定について常任委員会で報告
- 7月 基本計画骨子案について常任委員会、特別委員会で報告
- 10月 基本計画素案について常任委員会、特別委員会で報告
- 12月 基本計画原案について常任委員会、特別委員会で報告
- 3月 基本計画案について常任委員会、特別委員会で報告
- 3月 基本計画策定

2 基本計画の概要

(1) 趣旨

平成27年12月に策定した希望が丘文化公園将来ビジョンに基づき、公園の機能強化や老朽化した施設の更新等を着実に実施していくため平成30年3月に策定。

(2) 計画期間

平成30～34年度（5年間）

(3) 公園の役割

- ① 広大なフィールドを活かした交流・憩いの場
- ② 多世代でのスポーツ・健康づくりの推進
- ③ 貴重な自然を体験し楽しみながら学ぶ場

(4) 具体的な取組

- ① 公園の役割を果たす事業展開
 - 交流・憩いの場の提供 ➢スポーツ・健康づくりの推進
 - 自然を体験し楽しみながら学ぶ場の提供
- ② 安心して快適に利用できる施設の整備
 - スポーツ施設 ➢青少年宿泊研修所、野外活動施設
- ③ 公園の役割・魅力のPR
- ④ 利便性の向上
- ⑤ 管理運営のあり方

3 平成30年度の実施状況と今後の予定

基本計画の取組事項について、基本計画の工程表に基づき取り組んでいるところであり、現時点の実施状況は、別添「希望が丘文化公園基本計画 実施状況一覧」のとおり。

【希望が丘文化公園基本計画 実施状況一覧】

平成30年12月17日現在

項目	基本計画工程表における 平成30年度の取組	今年度の主な実施状況	今後の予定(平成31年度以降)
1 公園の役割を果たす事業展開	公園の役割を果たす取組の検討、検討結果を踏まえた取組を順次実施	<ul style="list-style-type: none"> ・現指定管理者により、基本計画に定める公園の役割を果たすための事業を展開 ①交流・憩いの場の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・10大祭り、イベント、フリーマーケット等の実施 ・アウトレットパーク滋賀竜王でのPRイベントの開催 等 ②スポーツ・健康づくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・希望が丘スポーツフェスティバル ・希望が丘ハイキング 等 ③自然を体験し楽しみながら学ぶ場の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・自然塾、林間スクール、里山学校の実施 ・中学生の勤労体験など、学校との連携事業の実施 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・次期指定管理候補者から公園の役割を果たすため、既存事業に加えて、新規事業が提案 ①交流・憩いの場の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・秋まつり(9月)、 ・まるごとファミリーフェスタ(10月) ・よさこいソーランの競演(11月) 等 ②スポーツ・健康づくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・日本プロ野球選手会との共催イベント ・ビワイチ・プラス応援イベント 等 ③自然を体験し楽しみながら学ぶ場の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・文化団体と連携した体験プログラムの実施 等
2 安心して快適に利用できる施設の整備	①スポーツ施設	陸上競技場 球技場 芝生ランド	<ul style="list-style-type: none"> ・滋賀県ラグビー協会、滋賀陸上競技協会からのヒアリングを踏まえ、整備計画を検討 <p>○整備計画(案) 【陸上競技場】天然芝張替え、トラック改修、観客席設置 等 【球技場】人工芝張替え、観客席設置 等 ※芝生ランドの整備内容については、次年度以降に検討</p>
		スポーツ会館	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の老朽化対策のほか、バリアフリー対策やアメニティ機能の改善等の改修計画を検討 <p>○改修計画(案) 【老朽化対策】屋根・外壁改修、給排水・消火設備改修 等 【バリアフリー対策】スロープ設置、自動ドアの設置 等 【アメニティ機能改善】トイレの洋式化、シャワーブースの増設等</p>
		テニスコート 野球場	<ul style="list-style-type: none"> ・滋賀県テニス協会からの要望を踏まえ、テニスコートの一部改修(5面)(H31.3月整備予定)
		ソフトボール場 草野球場 格技場	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトボール場のスコアボード改修(H30.11月) ・草野球場での投げき利用の促進に向け、左投げ利用に対応できるよう整備(H31.3月整備予定) ・格技場については、スポーツ会館の改修計画と併せて用途を検討

項目		基本計画工程表における平成30年度の取組	今年度の主な実施状況	今後の予定(平成31年度以降)
2 安心して快適に利用できる施設の整備	②青少年宿泊研修所(青年の城)	活性化に向けた方向性の検討	・有識者等による活性化等検討懇話会を設置し、東エリアを含む公園全体の活性化に向けた可能性について検討を行う予定(H30年度 3回開催予定) ○検討内容 ・第1回… 希望が丘文化公園の現地視察と意見交換 ・第2回… 他の施設の成功事例も参考に当公園の活性化に向けた可能性を検討 ・第3回… 2回の懇話会の結果を踏まえ、活性化に向けた可能性の取りまとめ	H31年度 ○活性化等検討懇話会を実施(4回開催予定) ・平成30年度の懇話会での議論を踏まえ、活性化に向けた具体的な取組内容の検討と効率的・効果的な管理運営手法を検討 ○活性化調査業務の実施 ・活性化等検討懇話会における取組内容や管理運営手法の検討にあたり、その実現可能性や施設の必要性等についてサウンディング調査を実施し、市場環境等を調査・分析
	③野外活動施設			
3 公園の役割・魅力のPR	役割・魅力をPRする新たな名称の検討	新たな名称の検討		・今後の施設整備や活性化に向けた検討と合わせて検討
	周辺施設、市町と連携した広報	公園での周辺施設、市町のPR	・アウトレットパーク滋賀竜王や市町での公園案内パンフレットの掲出 ・アウトレットパーク滋賀竜王でのPRイベントを実施 等	・アウトレットパーク滋賀竜王などの周辺施設や市町での公園案内パンフレットの掲出 ・アウトレットパーク滋賀竜王でのPRイベント ・「ピワイチ・プラス」新規コースを活用した市町との連携 等
4 利便性の向上	「ピワイチ・プラス」による自転車観光の推進と連携した自転車のコース設定	コース設定	・滋賀プラス・サイクル推進協議会ワーキンググループで「ピワイチ・プラス」新規コースを検討	・新規コースの設定 ・マップの作成、PR ・「ピワイチ」関連イベントの実施 等
	国内外アクセスの利便性向上	看板の増設、マイクロバスの活用等の改善策の実施	・圏外のアクセス改善に向けて、公園東側の県道に案内標識(2基)を、関係機関と調整の上設置予定(H31.3月整備予定)	・圏内のアクセス改善に向けて、圏内マイクロバスの運用を拡大(1台→2台)
5 管理運営のあり方	効果的・効率的な管理運営	幅広いアイデアを運営に生かす方策の検討	・幅広くアイデアを募集する方策の検討	・県民からのアイデア募集の実施
		基本計画を踏まえた次期管理者の選定	・基本計画を踏まえた募集要項により、次期指定管理者を公募し、指定管理者選定委員会において候補者を選定	・次期指定管理候補者から提出された事業計画に基づき管理運営を実施
		公園全体の効果的・効率的な管理方針を検討		・活性化等検討懇話会において検討
	収益力の向上や多様な財源を活用	整備内容を踏まえた施設使用料等の利用金体系の見直し検討		・今後の施設整備や活性化に向けた検討と合わせて検討
		民間活力や助成金の活用等の検討・実施	・スポーツ会館付近に、公募により自動販売機を2台追加設置(H30.7月) ・滋賀レイクスターズからの事業協賛(継続) ・(独)国立青少年教育振興機構からの助成(継続) ・(独)日本スポーツ振興センターに対しスポーツ施設整備におけるスポーツ振興くじ助成について要望 等	・自動販売機の増設の検討 ・スポーツ施設整備におけるスポーツ振興くじ助成金の活用 ・新たな民間助成の獲得に向けた取組の検討 等

希望が丘文化公園基本計画（概要）

1 背景

- 社会情勢や利用者ニーズの変化への対応の必要性（開園後40年以上が経過）
- 国体・全スポ開催等に向けたスポーツ・健康づくりの機運の高まり
- 希望が丘文化公園将来ビジョン（平成27年）
 - ・ 基本理念：「人と人」「人と自然」の関わりを深め、心の豊かさを育む公園
 - ・ 老朽化した施設の更新・基本理念を根付かせる取組を含めて基本計画を策定

2 計画期間

- 平成30～34年度（5年間）

3 公園の現状

- 位置
 - ・ 野洲市・湖南市・竜王町にまたがる416ha
- 主な事業概要
 - ・ 主催事業は年間50以上
- 主な施設概要
 - ・ スポーツ施設や青少年宿泊施設、野外活動施設を配置
- 来園者数
 - ・ 近年は年間約90万人

4 公園の役割

（1）広大なフィールドを活かした交流・憩いの場

安心してのびのびと過ごせる公園の魅力を更に高め、県内外の方々の交流・憩いの場としての役割を果たす

（2）多世代でのスポーツ・健康づくりの推進

公園の特徴を活かして全ての人がスポーツ・健康づくりに取り組める場としての役割を果たす

（3）貴重な自然を体験し楽しみながら学ぶ場

自然を保護・活用し、多世代で自然を体験し、楽しみながら豊かな人間性などを身につける場としての役割を果たす

※引き続き災害対策上の拠点施設としての役割を果たす

5 具体的な取組

（1）公園の役割を果たす事業展開

①交流・憩いの場の提供

- ・ 安心して楽しく遊べる場の提供
- ・ 家族・友人等で交流できる事業展開
- ・ 園内を一体的に利用したプログラム開発
- ・ 近隣商業施設との連携イベントの実施
- ・ 地域活性化の取組の検討

②スポーツ・健康づくりの推進

- ・ 誰もが健康づくりに取り組める事業展開
- ・ 周辺スポーツ施設とも連携した大会等の誘致
- ・ 障害者スポーツの普及促進
- ・ 専門的な人材との連携推進
- ・ スポーツを「支える」部分に参画できる取組

③自然を体験し楽しみながら学ぶ場の提供

- ・ 自然を活かすプログラムへの重点化
- ・ 大学や野外活動団体等との連携強化
- ・ 学校等との連携強化によるプログラム開発
- ・ 「やまのこ」事業の受入れ検討
- ・ キャンプリーダーの活躍の場の増加

（2）安心して快適に利用できる施設の整備

- ユニバーサルデザインを前提に老朽化した施設の点検・改修を進める
- 利用者のニーズを詳細に把握し改修・維持管理を実施する

①スポーツ施設

- ・ 陸上競技場、球技場、芝生ランド：芝生・グラウンド、観客席の整備など優先的改修（※）
- ・ スポーツ会館：交流・憩いの場、スポーツ・健康づくりの推進拠点として改修を実施（※）
- ・ テニスコート、野球場：多数の利用があり引き続き維持
- ・ ソフトボール場、草野球場、格技場：稼働率が低く用途等を見直し

※概算事業費は総額で約19億円を想定

②青少年宿泊研修所、野外活動施設

- ・ 自然を活かした取組を重点的に進めるエリアとして活性化に向けた方策の検討
- ・ 利用上の課題・新たなニーズへの対応等改修にかかる検討
- ・ 規模適正化、収益力向上の取組検討

（3）公園の役割・魅力のPR

- ・ 役割・魅力をPRする新たな名称の検討
- ・ 周辺施設、市町と連携した広報

（4）利便性の向上

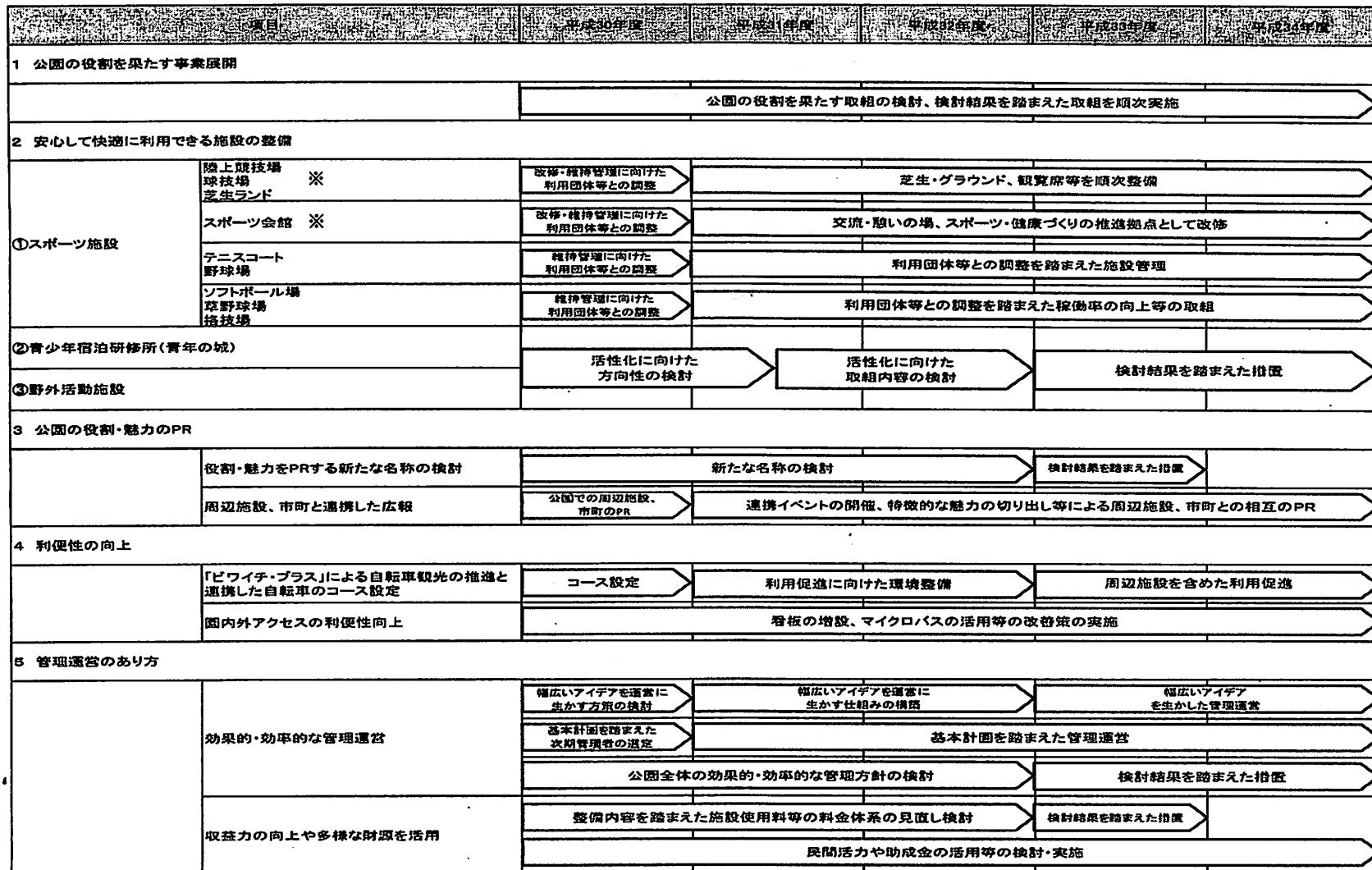
- ・ 「ビワイチ・プラス」による自転車観光の推進と連携した自転車のコース設定
- ・ 園内外アクセスの利便性向上

（5）管理運営のあり方

- ・ 幅広いアイデアを生かした管理運営
- ・ 収益力の向上や多様な財源を活用
- ・ アンケート等による本計画の取組の評価

別紙

希望が丘文化公園基本計画（工程表）



*陸上競技場・球技場・芝生ランド・スポーツ会館の詳細な改修内容および費用については、今後、利用団体との調整等も踏まえ検討するが、現時点での概算事業費は総額で約19億円を想定している。